

# 公共社会学科案内2020

福岡県立大学 人間社会学部 公共社会学科



## ようこそ、公共社会学科へ

公共社会学は、グローバル化が進む現代社会が直面する諸課題に、個人が主体となる新しい公共性の理念に基づいて、実践的に向き合う学問です。社会学をベースに政治学、経済学、教育学、地理学、情報学など幅広い領域を結んだ学際的な教育・研究で、複雑な社会現象を読み解きます。

一人ひとりの多様性が尊重される高度福祉社会の実現に向け、地域社会と国際共生に焦点を当て、課題を見極め、解決できる人材の育成を図っています。個人がかけがえのない存在となり、社会参加による人生の充実を感じられる世界を、学生たちと対話しながら、考え、創っていきたくと願っています。

人や社会に役立つ仕事がしたいと思っている人は、ぜひお越し下さい。本学科は公立大学ならではの少人数制教育で、一人ひとりの夢を形にするサポートをしています。

公共社会学科地域社会コース代表 岡本 雅 享

## 目次

ようこそ、公共社会学科へ	1
公共社会学とは	2
教育の特徴	3
地域社会ネットワーク領域	4
アジア国際共生領域	5
ゼミ&教員紹介	6
教職課程・教育実習	11
社会調査実習・国際交流プログラム・交換留学	12
キャリア支援プログラム	13
活躍する卒業生	15
カリキュラム・コースツリー	18

# PUBLIC SOCIOLOGY

# Public Sociology



## ●公共社会学とは

公共社会学は、さまざまな人々が参加する対話と、対話を媒介とする公共性の重要性を認識し、地域・国際の視点から異なる社会的・文化的背景をもつ人々が対等な立場で互いに協力し合い、支えあう社会のあり方を考える学問です。

公共社会学科では、グローバル化や情報化、少子高齢化といった大きな社会変動のなかで、多様な個性を持つ人々が共に生きていける新たな公共社会の構築を、教員・学生間で議論を重ねながら考えていきます。



## ●課題解決力を高める

多様な人々が、互いの個性を尊重し、安心して暮らせる高度福祉社会—国内外の様々な地域で、その形成に積極的に関わり、活躍できる人材の育成を目指しています。学生たちが公共社会学をベースに、地域社会と国際共生の現場に立脚しながら、具体的な課題解決力を高められるよう、サポートしていきます。

### <公共社会学科が重視する4つのポイント>

- 1 新たな公共性、地域社会、国際共生の視点を培う。
- 2 コミュニケーション能力、リサーチ能力、ITスキルを習得する。
- 3 社会のニーズを的確に把握する調査力、分析力をつける。
- 4 問題解決への企画・提案力や調整力の基礎を培う。

### <卒業生が活躍する分野>

- ・地域資源(人、モノ、文化、自然)のコーディネートや、地域づくり・活性化の現場。
- ・グローバルな視点で共に生きる社会のあり方を考える、国際的な活動の舞台。
- ・ビジネスモデルを活用した社会事業団体・社会的企業。
- ・国内外に展開する民間企業。

## ●教育の特徴

### <公共社会学の理論と課題解決型教育>

新たな公共性の視点を学びながら、それを実際の社会問題に応用し、実態を把握し、要因を分析し、課題の解決法を検討する“課題解決型研究”を多く取り入れています。そのために現場で実際に話を聞くとともに、文献や統計資料を用いて客観的な状況を調べ、理論的に考察します。頭を使い、体を動かす—その往還で、より多角的で重層的な解を導くのが狙いです。

### <2つの履修領域>

新たな公共性を具体的、多角的に考えられるよう、地域社会ネットワーク、アジア国際共生という2つの履修領域を設けています(詳細は4～5頁)。

### <取得できる資格・免許>

社会調査士、中学校教諭一種免許(社会)、高等学校教諭一種免許(公民)、上級情報処理士、社会福祉主事任用資格が取得できます。

### <キャリア支援プログラム>

学生一人ひとりが将来の目標を定め、その実現に向け自律的に進んでいけるよう支援するプログラムです。大学での学びと卒業後の進路を有機的に結びつけるのが狙いです(詳細は13～14頁)。

## ●カリキュラム構成

公共社会学基礎論を基軸とする地域社会ネットワークとアジア国際共生の2領域、課題解決型研究のスキルを学ぶ社会調査・情報処理及びその他の関連科目群で構成しています。

<1年次>全学共通科目を履修しながら、社会調査と情報処理の基礎を含む、公共社会学科専門教育への導入科目を学びます。

<2年次>地域社会と国際共生に関する科目群から、各自の関心に沿った学習を組み立てていきます。1年次に学んだ情報・データ分析の能力を応用し、社会調査実習に取り組みます。

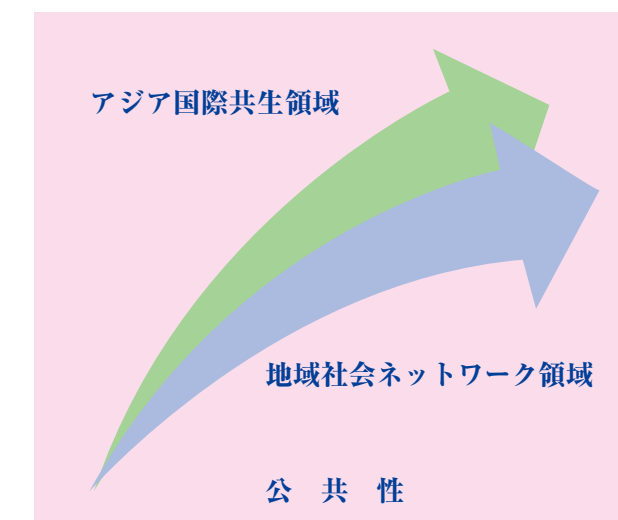
**【社会調査実習】** 調査の企画から実施、得られたデータの分析、報告書の作成に至るまでを学生が主体となって行います。社会の動向が表しているものを見極める能力を身に付けるのが狙いです(詳細は12頁)。

<3年次>より高度な専門科目を学びつつ、関心のある分野のゼミに入り、課題を設定し、原因を考察・分析する力を磨きます。

**【公共社会学研究】** 本学科のゼミ(演習)は、社会学だけでなく政治学、経済学、教育学、地理学、情報学など幅広い専門領域で構成されています。指導教員の専門ごとに分け、少人数(原則7人以下)で文献を読んだり、グループや個人による研究をしたり、ディスカッションしたりします(詳細は6～11頁)。

<4年次>1年次から学んできた知識やスキル、思考力の集大成として、各自で設定した研究課題について卒業論文を執筆します。教員の指導を受けながら、疑問を見出し、実態を把握し、検証・考察をへて結論を導き出す、一連の論じる力を身につけるのが狙いです。

## 2つの履修領域



# 地域社会ネットワーク領域

Q 地域社会ネットワーク領域が目指す教育は？

A 持続可能な地域社会の担い手の育成

人口減少と少子高齢化の進展、近隣関係の希薄化など、現代社会は大きな変化を経験し、地域社会においてはさまざまな生活課題が浮かび上がってきています。地域社会における多様な生活課題に対処し、持続可能な地域社会を構想していくためには、人々の生活に向き合い、地域住民、地域団体、ボランティア団体・NPO、企業、自治体などさまざまな人々、団体がつながりながら協働していくこと——公共を構想し築くことが大切です。多様な立場にある人々と協働し、持続可能な地域づくりを意欲的に推進していくことができる人材の育成を目指しています。

Q 地域社会の視点で何を学ぶか？

A 地域社会の仕組みや地域課題、課題解決過程を学びます

地域社会の構造や機能、現代日本の地方自治のしくみと動向、住民参加の地域づくりの現状と課題などを考える、充実したカリキュラムを設けています。それぞれの地域社会の中で人々はどのような生活を送り、そこにはどのような生活課題が見られ、それらの生活課題を解決するには地域住民、地域団体、ボランティア団体・NPO、企業、自治体はどのような役割を果たしていけばよいのか、社会学・政治学・地理学・経済学などの観点から学びます。

Q 「現地(フィールド)に出かける」とは？

A 地域課題について現場で調査しながら考えます

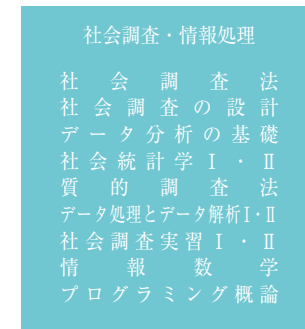
地域社会の現状についてウェブサイトや統計データ、文献資料で研究することはもちろん大切です。しかしそれだけでは、実態がわかったとは言えません。現地(フィールド)に出かけてその雰囲気を感じ、そこに住む人々と話し、地域社会の自慢や悩みに耳を傾けてみましょう。福岡県は旧産炭地からの転換を図る筑豊地域、福岡市と北九州市という異なる特性をもつ大都市、豊かな自然と農林水産業が盛んな筑後地域という、多彩な地域で構成され、アジアとの関係が深い県でもあります。多様なフィールドに出て学ぶことで、地域のさまざまな景観や暮らしに触れ、地域社会の奥深さを感じることができるでしょう。



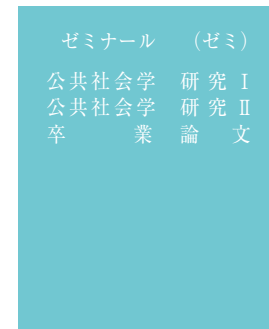
公共性の社会学



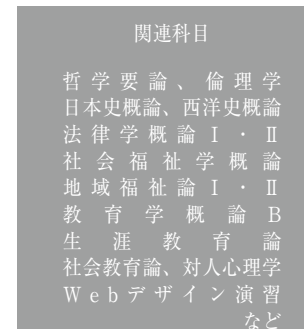
社会病理学



社会調査・情報処理  
社会調査法  
社会調査の設計  
データ分析の基礎  
社会統計学Ⅰ・Ⅱ  
質的調査法  
データ処理とデータ解析Ⅰ・Ⅱ  
社会調査実習Ⅰ・Ⅱ  
情報数学  
プログラミング概論



ゼミナール (ゼミ)  
公共社会学 研究Ⅰ  
公共社会学 研究Ⅱ  
卒業論文



関連科目  
哲学要論、倫理学  
日本史概論、西洋史概論  
法律学概論Ⅰ・Ⅱ  
社会福祉学概論  
地域福祉論Ⅰ・Ⅱ  
教育学概論B  
生涯教育論  
社会教育論、対人心理学  
Webデザイン演習  
など



NPO論



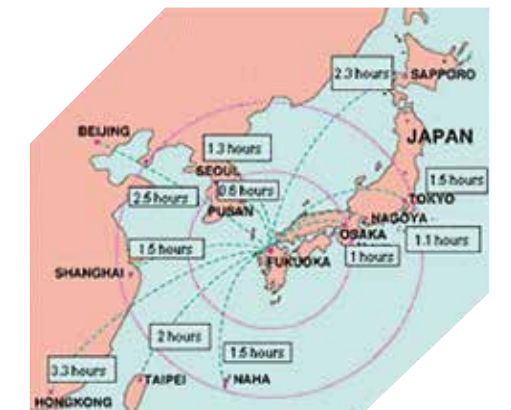
多文化社会論

# アジア国際共生領域

Q アジア国際共生領域が目指す教育は？

A 地域と国際社会をバランスよく結んで活躍できる人材の育成

外国人の受入れ拡大へと舵を切り、国内各地でも多文化共生を掲げた政策や窓口が設置され始めた日本。異なる文化や宗教、言語を持つ人々と、違いを認め合い、共存していける国際的知見を培いながら、地域でも国外でも、多様化が進む社会に対応できる、バランスのとれた人材が、ますます必要です。地域社会に軸足を置く本学科は、地域と国際を切り離さず、国際的な視野を持ちながら地域で活動できる人、地域の状況を理解しながら国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。



http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/ken-gaiyou.html

Q 国際共生の視点で何を学ぶか？

A グローバル化の中で多様な人々と共に生きる社会について学びます

社会学と政治、経済、文化、歴史学などを、国際的な視点で横断的に結んで学びながら、共に生きる世界には何が必要かを考えます。政治学分野では、伝統的な国家間関係では捉えきれない、様々なアクターが関与する今のグローバル社会を「人間の安全保障」という新たな枠組みで見直します。経済学分野では、国家間の経済活動に関する理論・歴史・政策を広い視野で学びながら、アジア地域を中心とするビックイシューを考えます。社会学分野では、豊かな国が富む一方、貧しい国がますます貧しくなる理由や、異なる文化への寛容性が国や地域で違う背景にある制度的、文化的要因などを学びます。

Q 福岡の地で国際共生を学ぶ意義は？

A 国を超えて地域が結びあう多様な世界像を学べる点

世界と結ぶ独自のルートがある福岡には、国連ハビタットやジェトロ福岡、JICA九州など国際的な諸機関が拠点を置き、NGO活動も盛んです。福岡を代表する基幹産業(鉄鋼や環境分野)を中心に周辺諸国間の企業交流や人材交流も活発で、東アジア経済ブロックの中で重要な役割を果たしています。

福岡から中国最大の商業都市・上海までは545マイル、東アジアのハブ空港があるソウルまでは337マイル。東京(566マイル)や大阪(289マイル)と同距離にあるアジアの拠点と直接繋がる福岡に立脚すると、国を超えて、地域と地域が直接結びあう多様な世界像、その中で地域が果たす役割を考えることができます。

# ゼミ&教員紹介

## ● 政治や文化を全員で議論しながら学ぶ



岡本ゼミでは、様々な視点から政治や文化を学んでいます。具体的には、それぞれの学生が興味や関心を抱いたことを中心に、最近起きた出来事や世間で話題になった事柄に対して意見を出し、あるいは文献や資料を持ち寄って各々の考えや見方に対してのディスカッションを交えます。

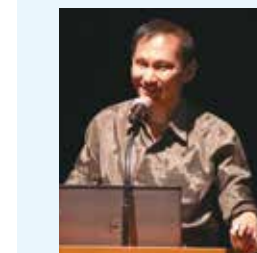
ゼミでは、昨年度は『あいちトリエンナーレ』に対しての資料・文献調査を行い、政治的背景や表現の自由などに対しての学生同士での議論を深めました。本年度は研究テーマを各自発表し、疑問点や説明を通してお互いの研究の質を高めています。

岡本先生は元国連NGO職員で、中国留学やアメリカの大学での客員研究員など海外経験を豊富に積んでこられました。その経験をもとに、幅広い視野、多角的な視点で私達にアドバイスをしてください。私は社会情勢全般に関心があり、現在国際的な注目を浴びている、台湾での民主化と台湾人のアイデンティティについての卒業論文を書いています。

ゼミの雰囲気も非常に和やかなものです。議論を交わすことで、新たな知見を得られることも多く、とても有意義な環境であると私は考えております。

政治や社会、文化などを学びたいと考えている人や、調べたいテーマが固まっている人でもじっくり取り組むことができるゼミです。また、神話など民俗の伝承などに興味のある方も、このゼミでその疑問や探求を深めていくことができるので、オススメです。

卒業論文指導(岡本ゼミ) 梅山 直寛  
私立自由ヶ丘高等学校出身



岡本 雅享  
Masataka Okamoto

【専門】政治社会学・国際学・民族学

【略歴&研究内容】

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了(博士(社会学))。国際学修士(横浜国立大学国際文化研究科)。

学部生時代から日本と欧米のマイノリティ、移民政策を比較研究。大学卒業後、中国(北京師範学院、中央民族大学)に1年半留学し、少数民族二言語教育の調査研究を行う。帰国後、国連NGOに就職し、国連を中心とした人権活動に従事。大学院進学を経て本学着任。サンフランシスコ州立大学民族学部(College of Ethnic Studies)に客員研究者として1年在籍。近年は日本型Nation Building & Ethnic Studiesとしての出雲学の構築を探究。明治学院大学国際平和研究所(PRIME)及び大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター(CAPP)客員研究員。

研究テーマは民族研究、多文化政策、国連人権活動など。

【主な業績】『出雲を原郷とする人たち』藤原書店(2016年)、『民族の創出』岩波書店(2014年)、『中国の少数民族教育と言語政策』社会評論社(2008年)など

【担当科目】政治学、国際政治学、多文化社会論、東アジア関係史など



## ● 国際比較の視点から社会について学ぶ



佐野ゼミでは、主に日本と世界の比較を通してさまざまな社会現象を深く学ぶという演習を行っています。3年の演習では、『グローバル現代社会論』というテキストを用いてディスカッションを行っています。毎回レジュメを作成する担当者と、司会進行の担当者を決め、メンバー全員がディスカッションに参加するかたちで、内容についての理解を深めています。佐野先生は、ディスカッションを生徒主体の形で進めており、そのおかげで私たちは発言する力を身につけることができました。内容が難しく、時には行き詰まることもありますが、そんなときには先生が助言して下さったり、ゼミのみんなでワイワイ話し合ったりして、演習が始まる前よりも一つ賢くなった気がします。また、生徒主体でディスカッションを行うため、他の人の意見を聞くことで今まで考えつかなかった新しい知見を得ることができ、意見のまとめ方や進め方を学ぶことができました。

佐野先生は、ネパールなど海外のことにも詳しく、一人一人の話に対してさまざまなアドバイスをくれるので、国際分野に興味がある方はもちろん、自分の関心分野が定まっていなくても大丈夫です！自分が知りたいことを知ることができ、新しい発見もある佐野ゼミを多くの人にオススメします！

公共社会学研究 I (佐野ゼミ) 岩切 花梨  
鹿児島県立鹿屋高校出身



佐野 麻由子  
Mayuko Sano

【専門】社会学・開発援助と社会学・ネパール地域研究

【略歴&研究内容】

立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了(博士(社会学))。立教大学社会学部助教を経て2012年10月に本学着任。

博士前期課程在籍中に立教大学派遣交換留学生としてネパール国立パドマ・カンニャ・キャンパス・ウイメンズ・スタディ・コースに在籍。

現在は、「ネパールにおける市場化・準市場化と男児選好」という研究テーマで女兒の選択的中絶や育児放棄の要因を解明することに取り組んでいます。

【主な業績】『グローバル現代社会論』文真堂(分担執筆、2018)『開発社会学を学ぶための60冊：援助と発展を根本から考えよう』明石書店(共編著、2015年)、『国際社会学』有斐閣(分担執筆、2015年)、『国際開発と協働—NGOの役割とジェンダーの視点』明石書店(分担執筆、2013年)、『公正な社会とは』人文書院(分担執筆、2012年)など。

【担当科目】

国際社会学、国際協力論、NPO論、社会調査実習 I・II など



## ● 満足度の高い働き方・生き方を模索する



許ゼミでは、主に許先生の専門分野である経済学を学んでいます。

3年の授業では、『現代経済学』(滝沢弘和著)という本をテキストとして扱い、章ごとに担当を決めて、まとめたものの発表を行い、経済学への知識を深めています。一人でもわからない人がいると、先生は理解するまで説明してくれたり、みんなで教え合ったりするので、分からないまま、になることはありません。質問や疑問をもったら、すぐ発言できるので、楽しく学べるゼミになっていると思います。

また、許先生は韓国の出身ということもあって、毎年韓国の大学と日本の大学が集まるシンポジウムが行われ、そのシンポジウムにゼミで合宿として参加します。今年は夏休みに韓国に行って、フィールド調査と発表を行う予定です。日本の他大学の学生や韓国の学生と交流ができるのもこのゼミの強みです。

許先生はとても優しく、フレンドリーな方なので、アットホームな雰囲気のゼミです。経済学に興味なくても大丈夫です！ゼミを通じて、一緒に多くのことを学んで、活かしていきたいと思います！

公共社会学研究 I (許ゼミ) 高山 春菜  
広島県立海田高校出身



許 棟翰  
Hur Donghan

【専門】労働経済学・労使関係論、人事と組織の経済学

【略歴&研究内容】

慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了(博士(商学))。九州国際大学経済学部教授、(韓国)明知大学経営学部副教授を経て2015年4月から本学着任。

私の研究を一言で表現すると「満足度の高い働き方・満足度の高い生き方を模索すること」です。日本社会や経済を取り巻く環境は激しく変わっています。例えば、少子・高齢化による人口構成の変化、人々のライフスタイルや消費パターンの変化、そしてそれらの影響を受けた産業構造や経済構造の変化、非正規職の増加や雇用形態の多様化など。外部環境が変化するなか、人々の仕事や暮らしはどのように変わのでしょうか。私の研究は、将来の環境変化に備えた効率的な人事管理、そして満足度の高い働き方・満足度の高い生き方を構築する、というところにあります。大学生の皆さんは「満足度の高い大学生活」を送る必要があります。大学在学中に、私と一緒に「満足度の高い人生」を設計してみましょう。

【主な業績】

“Administration Strategy of the Break System at the aspects of Corporate Management”, KEF Compensation Quarterly, 22(1), Spring 2014 など

【担当科目】経済学、仕事の経済学、暮らしの経済学、公共経済学、アジア経済論など

## ● 都市問題と移民問題について考える



陸ゼミでは、先生の専門である都市問題、移民問題、日中社会問題を中心に各自の問題関心を広げて個別で研究を行います。

都市問題、移民問題、中国社会問題などに関連する専門書を読み、論文の読み方、レジュメの作成の仕方、報告の仕方などを学びます。今まで見過ごしていた外国人労働者の問題について深く考え、各自で考えたことをディスカッションします。陸先生は中国出身なので、先生のリアルな体験談を通して、日本の良い点・悪い点を客観的に考えさせてくれます。また、豊富な経歴を持っているので、海外の現状などを知ることができ、お話を聞くだけでも視野が広がります。陸先生は「都市社会学」の担当もされていて、その講義では、都市の社会構造などを学ぶと同時に、先生の出身地である中国の都市問題などについても学べます。都市社会学を通して関心を持ったことや興味を湧いたことについて陸ゼミで研究することもできます。

陸ゼミは先生が優しく、発言しやすい雰囲気なので、みんなの意見を通して自分の理解を深めることができます。海外に興味がある人、日本の外国人に興味がある人、日中関係が気になる人は是非是非陸ゼミをオススメしたいです！

公共社会学研究 I (陸ゼミ) 垣迫 美沙  
大分県立大分舞鶴高校出身



陸 麗君  
Lu Lijun

【専門】都市社会学・エスニシティ研究・中国の地域研究・中国語教育法研究

【略歴&研究内容】

一橋大学社会学研究科博士課程修了(博士(社会学))。農林水産省農業総合研究所(現農林水産政策研究所)特別研究員、(中国)華東理工大学社会与公共管理学院准教授を経て2019年4月から本学に着任。

これまでグローバル化のなかの都市コミュニティに焦点をあてた研究を進めてきた。現在は主に日本における華僑・華人の起業とコミュニティ、中国の「農民工」の国内移動と都市コミュニティ問題、日中コミュニティの比較に関する調査研究に取り組んでいる。

【主な業績】

『さまよえる大都市・大阪—「都心回帰」とコミュニティ』東信堂(共著 2019)、『中国の「村」を問い直す』明石書店(共著 2019)、『グローバル都市大阪の分極化の新たな位相—日本型ジェントリフィケーションの多様性』URP「先端的都市研究」シリーズ 17 大阪市立大学都市研究プラザ(共著 2019)など。

【担当科目】都市社会学、中国の社会と文化、中国語など



# ゼミ&教員紹介

## ●都市問題、社会問題へのアプローチの仕方を学ぶ



堤ゼミでは、都市問題や社会問題などにアプローチする理論や方法を学びながら、興味のあることに関して個別で研究を行います。

現在は、都市研究に映る社会学の姿や権力・公共性に関すること、医療・保険・福祉を通して見る社会のシステム等の内容の文献を読み、担当者はレジュメを作り報告し、議論をしています。担当者の報告の後にはそれ以外の学生が、自分の考えたこと・疑問に思ったこと・反論したい点などを自由に述べるすることができます。そして、それに対して堤先生の助言や、学生の意見を加えて議論を深めていきます。堤先生は、文献を丁寧にわかりやすく解説してくださる、資料作成や報告の仕方についてもアドバイスをしてくださるので、自分自身に足りていない視点やスキルを把握し、改善することができます。また、学生の意見をお互いに聞きあうことで、新たな知見を得ることもできます。

ゼミではこれまでの学びを通し、新しい発見や新しい学びを追求することができます。また、ゼミを通して自分自身の成長を感じることもできます。狭い視野で見ていたものが、広く大きな視野で物事を見られるようになるのではないかと思います。

公共社会学研究Ⅰ(堤ゼミ) 西森 友香  
鹿児島県立武岡台高校出身

## ●地理学の視点から地域を調べ、見て歩く



美谷ゼミでは、高校でいう地理の観点から日本の地域や社会の問題を考えています。普段のゼミでは、分担を決めてテキストを読みながら、複数の論点について受講生で議論しています。最終的に先生から解説してもらえるので、理解できないままということもありません。

また、ゼミでは「巡検」という現地観察や調査も行っています。大学の現地観察と聞くと、なんとなく窮屈なイメージがあるかもしれませんが、和気あいあいと楽しみながら学ぶことができます。今年の春の日帰りの巡検では、福岡都市圏のさまざまな地域の機能の違いや近年の観光スポットの状況などを見てきました。

いつものゼミでの議論や巡検を通して、ゼミ生同士、ゼミ生と先生とはとても仲が良いです。これは意外に重要な点だと思います。また、進路について真剣に考える時期でもあるので信頼でき親しみのある先生には相談もしやすいと考えています。

文章で伝えられることには限界がありますので、興味を持ってくれた皆さんには、ぜひ入学してから、先輩の話聞いて、もっと感情のこもった「本当の美谷ゼミ」を知ってほしいです！

公共社会学研究Ⅰ(美谷ゼミ) 太田 雄大  
京都府立城南菱創高校出身

## ●家族の多様性を学ぶ



阪井先生は家族社会学を専門としているため、ゼミではLGBTのことやジェンダー、恋愛、結婚、子育て、介護、離婚、母子家庭、主婦(主夫)などについて取り扱っています。3年生の前期

は『WORK DESIGN-行動経済学でジェンダー格差を克服する』(イリス・ボネット著)という本を読み、章ごとに担当者とコメントーターを決めレジュメを作り発表していきました。報告者は必ず最後にコメントと疑問を提示することになっており、発表後はそのことについて全員でディスカッションをして理解を深めていきます。先生の解説は映画やドラマなどを参考にすることも多く、楽しみながら知識も身につくというとても魅力的なゼミです。こうして知識が身につくことで、今までは他人事のように思っていた結婚や離婚やその他さまざまなことを、ぐっと身近な問題として「考える」ことができるようになります。

公共社会学研究Ⅰ(阪井ゼミ) 大野 桜  
愛媛県立松山北高校出身

## ●地域や農村、福祉に関して学ぶ



吉武先生のゼミでは、主に地域や農村、福祉に関する研究テーマの中から、それぞれが興味のあるテーマについて研究を行っています。

現在、私たちは「輪読」という活動を行っています。この「輪読」とは、まず1人1人が興味のある文献を読み、各自でレジュメや発表原稿を作成します。そして週ごとに発表者と司会役を決めて1人ずつ順番に先生とゼミの皆の前でプレゼンをする活動です。ですが、ただ文献を読み、発表して終わるのではなく、ゼミではそれぞれがもった感想や疑問、考えを共有しながら議論を進めていくので、格段に視野が広がります。ゼミ生1人1人の興味や研究対象は様々ですが、自分の興味関心を追求出来るのはもちろん、多様な視点から物事を捉える力がつきましますし、新たな自分の興味の発見にもつながります。

自分が興味のある分野が分からない…卒論は上手く書けるだろうか…などなどゼミや大学生活において不安を感じている方もいられるかもしれません。ですが、安心してください。吉武先生が優れる確にアドバイスして下さいますし、1人1人の話をしっかりと聞いてくださいます。優しくとても信頼できる吉武先生とゼミの皆のおかげで、私も自分自身の興味関心を楽しく、深く学ぶことが出来ています。皆さんも是非、吉武ゼミと一緒に楽しく学んでみませんか?吉武ゼミでお待ちしております。

公共社会学研究Ⅰ(吉武ゼミ) 山内 優実  
福岡県立鞍手高校出身



堤 圭史郎  
Keishiro Tsutsumi

【専門】社会問題と逸脱の社会学・都市社会学

【略歴&研究内容】

大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(文学)。2010年より本学に勤務。

これまでホームレス問題に関する研究、生活困窮者支援モデルに関する研究などを行ってきた。現在は、生活困窮者自立支援制度に基づく「排除と差別」に抗する地域社会づくり、福岡市

や北九州市におけるコミュニティ状況把握、農村部における持続可能な地域生活文化圏のありかたについて調査研究を進めている。

【主な業績】『さまよえる大都市・大阪―「都心回帰」とコミュニティ』東信堂(共著、2019年)、『生活困窮者への伴走型支援―経済的困窮と社会的孤立に対応するトータルサポート』明石書店(共著、2014年)、『ホームレス・スタディーズ―排除と包摂のリアリティ』ミネルヴァ書房(共著、2010年)など。

【担当科目】社会学A・B、社会病理学、社会変動と社会問題、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど。



美谷 薫  
Kaoru Mitani

【専門】人文地理学・地域行政論

【略歴&研究内容】

筑波大学大学院博士課程生命環境科学研究科修了(博士(理学))。宇都宮市職員などを経て2016年4月に本学に着任。

学部生時代から市町村合併に関心をもち、合併という行政の枠組みの変化がその地域にどのような影響を及ぼしてきたのかについて、予算や人員といった行政の資源配分(具体的には事業費の配分や職員の配置など)に着目して研究してきました。

また、地方公務員時代には、主に、上下水道の部局で、事業の方針や計画を策定したり、予算の編成・管理を行う仕事などを担当していました。

今後は、「平成の大合併」と呼ばれる全国的な市町村の再編後10年強が経過することから、引き続き、合併に伴う行政の仕組みの変化やその結果としての地域社会・地域経済の変容を、丁寧な実態調査に基づいて明らかにしていきたいと考えています。

【主な業績】『地方行財政の地域的文脈』古今書院(共編著、2012年)、『ローカル・ガバナンスと地域』ナカニシヤ出版(分担執筆、2017年)など

【担当科目】地理学、地理学概論、地域社会分析法C、地方自治論、地域計画論、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど



阪井 裕一郎  
Yuichiro Sakai

【専門】家族社会学・歴史社会学

【略歴&研究内容】

慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了(博士(社会学))。慶應義塾大学などで非常勤講師、日本学術振興会特別研究員PDを経て、2017年4月より本学に着任。

これまでおこなってきた主な研究内容は、1)日本の家族や結婚に関する歴史社会学的研究、2)事実婚や同棲といったパートナー関係についてのインタビュー調査です。

近年の家族研究では「多様化」が重要なトピックとなっています。シングルペアレントやステップ・ファミリー、里親・養子縁組、LGBT、生殖補助医療、シェアハウジングなど、従来の枠組みには収まらないさまざまな「家族」や「共同生活」に注目が集まっています。家族の歴史・現在・未来について、学生たちと一緒に考えていきたいと思っています。

【主な業績】『入門 家族社会学』新泉社(共著、2017)、『現代家族ベディ』弘文堂(共著、2015)、『境界を生きるシングルたち』人文書院(共著、2014)など

【担当科目】家族社会学A・B、コミュニティ論、公共性の社会学、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど



吉武 由彩  
Yui Yoshitake

【専門】福祉社会学・地域社会学

【略歴&研究内容】

九州大学大学院人間環境学府修士課程を修了。修士(文学)。日本学術振興会特別研究員(DC)、下関市立大学経済学部特任教員(地域貢献担当)等を経て、2017年に本学に着任。

地域や親族関係など、これまで私たちの生活を支えていた関係性は近年弱まっていると言われます。そのようななか、あらためてボランティア的行為や社会参加活動の実態や、人々の生活がどのように支えられているのかを研究しています。具体的には、主に以下の2つの研究に取り組んでいます。1つは、ボランティア的行為の一事例としての献血の研究です。献血者への聞き取り調査から、見知らぬ他者への贈与の実態を分析しています。もう1つは、農山村における高齢者の生活に関する研究です。聞き取り調査や質問紙調査などから、社会参加活動、生きがいが、社会関係や地域意識等について分析を行っています。

【主な業績】『新版 現代の社会学的解説―イントロダクション社会学』(共著書・学文社、2016年)、『地域の持続可能性―下関からの発信』(共著書・学文社、2017年)など

【担当科目】福祉社会学、地域社会学A・B、社会調査の設計、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど

## ゼミ&教員紹介

### ●ジェンダーや統計について学ぶ



坂無ゼミでは、先生の専門であるジェンダーや統計に関する内容を取り扱います。現在は3年生8人と4年生2人の計10人合同で進めています。先輩の姿を見て学ぶことも多く、自分の1年後のイメージもわかりやすいため、大変刺激を受けます。

3年生の前期では『情報生産者になる』（上野千鶴子著）という本を読んでいます。卒論を書く上で必要な知識をこの本から学び、4年生でジェンダーに関する本を読む予定です。読んだ内容は担当に分かれてレジュメにまとめ、発表・議論をしています。坂無先生は議論を楽しむことに重点を置いているので、学生は積極的に自分の意見を言うことができます。私自身はじめは緊張していましたが、言ったもの勝ちの仕組みがわかり、ためらわずに発言していこうと考えるようになりました。発表という場に慣れるという点でも、ゼミは重要な役割を果たしていると感じます。

坂無ゼミでは、ジェンダーや統計に興味のある人も、まだ自分の学びたいことが決まっていなくても温かく迎えてくれます。ゼミでの活動を通して、新たな学びや興味がきくと出てくるはず。ぜひ皆さんも坂無ゼミで新たな自分を見つけてください。

公共社会学研究 I (坂無ゼミ) 西野 まき  
大分県立中津北高校出身

### ●情報化社会の課題と可能性を学ぶ



石崎ゼミは、保健福祉分野の諸問題について情報通信技術活用の可能性を探っていくゼミです。

3年次前期では、学期末の研究発表に向けて各々がテーマを設定し、情報収集に勤めます。各週のゼミでは、個々人が情報化社会における種々の問題に対して疑問や持論を元に調べた情報を報告し、欠けた部分や理論の甘さを指摘しあったり、意見を交換しあったりするなど、日々切磋琢磨しています。また、石崎先生及び同期生との質疑応答、意見交換を繰り返すことで、自分の考えを「論理的に相手に伝える」能力や、相手の考えを「聞く」能力も養っています。また、各週ゼミの進捗によっては、簡単な講義をしてくださる場合もあり、新たな知識、視点をすることもできています。

石崎先生は、総合人間社会コースの兼任教員であり、保健福祉と情報に関する様々な視点からアドバイスをさせていただきます。そのため、石崎ゼミにはバラエティに富んだ研究内容をもつゼミ生が集まっています。例えば、ICTを用いたまちづくり、AIやロボット技術と高齢化社会、高度道路交通システムの推進と車社会の未来などのテーマに取り組んでいます。

公共社会学研究 I (石崎ゼミ) 松原 稜  
福岡県立鞍手高校出身

## 教職課程・教育実習

### ●教職課程の学びを成長につなげる

教職課程では、4年次にある教育実習に向け、教育分野の基礎や授業を実践する上で必要な知識、技能を学ぶことができ、少人数制で充実したサポートも受けられます。1・2年次では教育そのものや教養を学び、3年次では学校教育や制度に関わる内容を学ぶ、模擬授業として実際に50分間の授業を行う、といったことを経験しました。模擬授業では、授業準備、授業を実践したあとの教員や他の学生と話し合い、自分だけでは気付くことのなかった問題点や課題を発見し、次回以降への改善につなげていきました。学びは大学内にとどまらず、2・3年次に、それぞれ福祉施設、特別支援学校での介護等体験を行い、講義だけでは学べないことを経験できました。また、3年次には学校インターンを行い、近隣の中学校の授業等に参加することで、「授業を行う側」としての視点から先生方の授業や生徒とのかかわり方を見て学ぶ、生徒とのコミュニケーションをとる、といった経験を重ねました。

入学当初は教育に関する知識もなく、15分間の発表を行う際の声のボリューム、視線、話す内容などに多くの課題がありました。今年

度は、コロナウイルスの問題でまだ教育実習に行けていませんが、大学での経験を活かして努力していきます。

福岡県立大学の教職課程での学びから、教職の厳しさと楽しさの両方を学ぶことができました。相手に何かを伝えるということは教職に関わらず重要な能力でもあり、今後もここでの経験を活かしていきたいと思います。

中・高教職課程履修 公共社会学科4年 入江 和希  
福岡県立小倉南高校出身



### 教職課程専任教員一覧（中学校社会・高校公民）

許 棟翰	アジア経済論、経済学
岡本 雅享	政治学、国際政治学、多文化社会論、東アジア関係史
堤 圭史郎	社会病理学、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ
吉武 由彩	地域社会学A、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ
陸 麗君	都市社会学
阪井 裕一郎	家族社会学A、コミュニティ論、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、地域社会分析法A
美谷 薫	地理学、地理学概論、地方自治論、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、地域社会分析法C
坂無 淳	社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、データ分析の基礎
佐野 麻由子	社会学概論、国際社会学A、NPO論、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、国際協力論
石崎 龍二	教育方法と情報技術、データ処理とデータ解析Ⅰ
藤澤 健一	教育学概論B、教育史、教師論、教育の方法と実践、教育実習、事前事後指導（中高）、中学校教育実習、高校教育実習、学校インターンシップ、教職実践演習（中高）
岩橋 宗哉	教育相談

※青字は、教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容にかかわる科目



坂無 淳  
Jun Sakanashi

【専門】社会学・ジェンダー研究・社会調査法

#### 【略歴&研究内容】

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。山形大学男女共同参画推進室、立教大学コミュニティ福祉学部助教を経て、2017年4月に本学着任。

私の専門は社会学とジェンダー研究です。主に社会調査でデータを集め分析することで、社会的に何が明らか

になり、また、どのようにジェンダー平等を達成できるかを研究しています。そのスキルの一つである統計分析は、無味乾燥で苦手意識のある方もいらっしゃるかもしれませんが、そのデータの背後には回答してくれた人の生活があります。データをとる、仮説を検証する、新しい発見が生まれる、データをもとに他の人と議論することは楽しく、また今後、色々な場面で役立つはず。皆さんと一緒に勉強できるのを楽しみにしています。

【主な業績】『ワーク・ライフ・バランスとジェンダー』『コミュニティ政策学入門』: 183-202(誠信書房・坂田周一ほか編)、2014。「大学教員の研究業績に対する性別の影響」『社会学評論』65(4): 592-610、2015など

【担当科目】統計学、データ分析の基礎、社会統計学Ⅰ・Ⅱ、ジェンダー論、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど



石崎 龍二  
Ryuji Ishizaki

【専門】統計科学、数理物理・物性基礎論

#### 【略歴&研究内容】

九州大学大学院理学研究科博士課程修了(博士(理学))。

自然や社会の現象を数理的に理解するためのモデル構築とその解析や新しいデータ解析法の開発などを行っています。最近是非定常時系列に対するパターン・エントロピー時系列による解析と応用に取り組んでいます。

抽象的な数理モデルの計算が多く、

何を目的にして研究をしているのかわかりづらいと思いますが、対象とする現象の背景にある規則性・法則性の発見を目指しています。

講義・演習を通して、数学、情報処理、統計科学の面白さを伝えていきたいと考えています。

#### 【主な業績】

1. Ryuji Ishizaki, Masayoshi Inoue, "Time-series analysis of multiple foreign exchange rates using time-dependent pattern entropy", Physica A, Vol.490, No.15 pp. 967-974, 2018.
2. 駒澤勉・橋口捷久・石崎龍二『新版 パソコン数量化分析』, 朝倉書店, 1998年.

【担当科目】情報科学、情報数学、プログラミング概論、データ処理とデータ解析Ⅰ・Ⅱなど



藤澤 健一  
Kenichi Fujisawa

【専門】教育学・教育制度学・教育政策学

#### 【略歴&研究内容】

筑波大学大学院博士課程教育学研究科。2000年より本学に勤務。教職課程のうち基礎的な事項にかかわる講義を中心に担当。研究分野は、教育の管理運営にかかわる歴史分析です。とくに小学校を中心とした教員の組織、団体、制度・政策に関する研究に取り組んでいます。教師という職業の本質とはなにか、それは歴史的にどのようにあったのか、また、理念としてどのようにあるべきかを考えています。

【主な業績】(共著)教育制度研究会編『要説 教育制度』新訂第三版、学術図書出版社、2011年、(単著)『近代沖縄教育史の視角一問題史的再構成の試み』社会評論社、2000年、(編著)『沖縄の教師像—数量・組織・個体の近代史』榕樹書林、2014年、『移行する沖縄の教員世界—戦時体制から米軍占領下へ』不二出版、2016年。

【担当科目】教育学概論B、教師論、教職実践演習、教育実習事前事後指導など

## 社会調査実習

### 「市町村合併後のまちづくりと住民意識調査」

社会調査実習は、10人程度のグループに分かれてそれぞれでテーマを設定し、インタビューや質問紙調査の企画から実施、得られたデータの分析、報告書の作成に至るまでを学生が主体となって行う実習の授業です。今年度は、「社会学系学科卒業生の生活と意識に関する調査」、「農村における暮らしと福祉に関する調査」、「市町村合併後のまちづくりと住民意識」の3つのグループで調査を進めています。



市役所の職員の方からの講義

「市町村合併後のまちづくりと住民意識」をテーマとする私たちのグループでは、4つの市と町が合併してできた大学近隣の嘉麻市をフィールドにして、市の行政が合併後にどのような政策に力を入れ、それについて住民の方々がどのように考えているのかということ調査しています。この調査を通じて、全国的に進められた「平成の大合併」という現象が、それぞれの具体的な地域にどのような影響を与えたのかを明らかにすることを目的としています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、実習が始まるのが遅くなりましたが、まずは、どのような項目について調査するかを受講生で整理し、先日は、嘉麻市の市役所の方を大学にお招きして、市の概要や合併後に重点的に取り組んだ行政改革に関するお話をうかがいました。

今後は、市役所の担当の部署や地域の団体の方にインタビューをした上で、市の政策や合併に関する調査票を作成し、住民の方に回答をお願いする予定です。その結果を集計・分析し、年度内に報告書を執筆することになっています。

調査の方法については、学科の授業で学びますが、実際にそれを自分たちの手でやってみるのはなかなか大変だと感じています。また、細かい作業も多いのですが、高校までとは大きく違って、自分たちで一から資料やデータを作っていくのは、大学の授業ならではの作業であるとも思います。

私は、この社会調査実習を通じて、地域社会の現状や課題を見極める方法を身につけ、地域で活躍できる進路を目指したいと考えています。この能力は、現代社会を生きていく上でも重要なものだと思いますので、公共社会学科に入学した際には、ぜひ実習に参加して大学らしい学習の経験をしてみてください。

社会調査実習（美谷グループ）  
公共社会学科2年 渡邊 露紀  
愛媛県立今治北高校出身



調査項目の整理風景

## 国際交流プログラム・交換留学

### 大邱韓医大学への交換留学によって精神面でも大きく成長！

留学当初は授業に全くついていけず、何をすることも1人では解決できないことの連続でした。その状態から脱却するため、人との繋がりが最も重要だと考え、多くの人と交流出来る機会を逃さないよう努めました。知り合いが誰もいない講義であっても、受講して近くに座っている人に話しかけたり、他大学の学生とも積極的に交流しました。また、友人の紹介で化粧品学科の教授とも知り合いになり、一緒に日帰り旅行へ行ったりもしました。自分とは異なるバックグラウンドを持つ沢山のひととのこうした交流は、何となく敷いていた人生のレールが1つではないことを、私に教えてくれました。



留学によって語学力の向上だけでなく、精神面においても大きく成長することができました。すべてが初めてだらけの生活下にあったからこそ、それを培うことが出来たと実感しています。自分がしたいと思ったことに挑戦し、自分なりに困難を乗り越えていった経験は、何にも変えがたい財産です。この経験を胸に、次のステージへ向かって突き進んでいきたいと思えます。

公共社会学科3年 深田 真央  
大分県立別府鶴見丘高校出身

### 海外語学実習UKプログラムで海外への一歩を踏み出して！

私は夏休みに3週間、イギリスへ語学研修に行くUKプログラムに参加しました。これは卒業単位に加算される授業です。前期の講義で英会話を練習し、イギリスの文化や歴史なども学び、準備を整えて現地へ行くことができます。英国ではオックスフォードとバースに滞在し、英語の授業を受ける傍ら、博物館や、地域の小学校、病院などを訪れ、教科書やテレビでは知ることができないイギリス社会を見聞きました。語学力は、現地で毎日受ける授業と英語環境の中で、日常会話ができるまでに上達しました。



バース市にて

前半、オックスフォード大学の大学寮に宿泊し、イギリスの大学生と交流しました。英語で自分の意見を伝えたり、お互いの趣味の話をしたりして仲良くなり、とても楽しかったです。後半のホームステイでは、ホストファミリーが日常生活で使える英単語を教えました。また、お勤めのお土産やお店も紹介して下さい、自由時間に行くこともありました。

現地へ行くと、思っていたほど英語が話せず、最初は悔しい思いをしました。ホストファミリーなどから「上手に話すことより、相手に伝えようとする気持ちが大切」と学び、気軽に話せるようになりました。私はUKプログラムに参加して、たくさんの刺激を受け、自信もつきました。新たな自分に会える貴重な機会です。

公共社会学科3年 野口 賢乃  
福岡県立小倉南高校出身

## 交換留学協定校

### 中国



南京師範大学（江蘇省南京市）



吉林大学珠海学院（広東省珠海市）

### 韓国



大邱韓醫大（大邱市）



三育大（ソウル市）



威徳大（慶州市）

## キャリア支援プログラム

公共社会学科では専門教育と連動したキャリア支援プログラムを設けています。本学科で学んだ公共性や地域社会・国際共生に関する専門的な知識、リサーチや分析能力を、各自のキャリア形成を展望しながら応用し、活用するためのプログラムです。

学生はそれぞれの進路希望に応じて自由にプログラムを選択できます（必ず1つは選択、複数の選択も可）。

なお、大学内のキャリアサポートセンターと連携し、組織的に就職情報の収集を行い、企業インターンシップの促進など学生のキャリア支援を強化します。

### 1. 社会調査士資格取得支援プログラム

社会調査は生活の実態や社会的課題を明らかにする技術です。たとえば、市町村が何かの計画を立てようとする際の住民ニーズの把握や実現方法の選定に用いられます。そして、社会調査の技術の基礎を習得している人に与えられるのが、一般社団法人社会調査協会が認定する「社会調査士」資格です。資格取得に必要な科目は公共社会学科のカリキュラムに全て含まれています。キャリア支援プログラムでは、社会調査の応用——授業や実習で習得したデータ収集・分析とそれに基づく企画能力が企業や行政などでどのように利用されているかなど——について認識を深めるとともに、社会調査協会や日本社会学会の最新の動向を情報提供し、資格申請手続きを円滑に行えるよう指導します。

### 2. 教職免許取得支援プログラム

公共社会学科では高等学校教諭一種免許状「公民」と中学校教諭一種免許状「社会」が取得できます。本学科では、現代社会の諸問題の分析と高度福祉社会構築への実践的提案力を活かして子どもの教育に独自の貢献をすることができます。

カリキュラムとは別に、職業としての教職という側面から関連する情報を提供し、互いに意欲を高めあって進路選択に活かせるよう支援していきます。次の2項目を目標にします。

- (1) 教職の現状（学校現場、教職の展望等）について認識を深める。
- (2) 教員採用試験の受験準備をする。

### 3. 情報処理関係資格取得支援プログラム

#### 上級情報処理士

本学の所定の単位を修得すれば、上級情報処理士の資格を取得することができます。上級情報処理士は、全国大学実務教育協会が認定する資格です。次の4点が教育目標となります。

- (1) 高度な情報処理技術の応用を身につける。
- (2) ビジネスで活用されるソフトウェア技能の応用を身につける。
- (3) プレゼンテーション能力の応用を身につける。
- (4) オフィスの組織や情報の流れを活用する技能を身につける。

上級情報処理士の資格を取得することは、以上のコンピュータを使いこなせる技術が身についたことの証になります。

## キャリア支援プログラム

### マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)

本学は、隣接するたがわ情報センターと連携し、MOS資格取得講座を開講しています。MOSはエクセルやワードなどのマイクロソフトオフィス製品の操作スキルを証明できる資格です。マイクロソフトオフィスは、現在、多くの職場で活用されている代表的なアプリケーションソフトです。

この認定資格は、企業での認知度が高いため、就職活動前に取得しておきたい資格です。

## 4. 公務員受験支援プログラム

公共社会学科では、公共性の社会学やコミュニティ論、地方自治論など、地域社会や地方自治について学ぶさまざまな専門科目を開講しており、学科の目標や学習内容から、特に地方公務員はキャリア形成を考える際の選択肢の一つだと言えます。

全学的には、2・3年生を主な対象とした教養試験対策講座が開設されており、本学科の公務員志望者にもこの講座を受講するように勧めています。また、地方自治体の現場でのインターンシップを経験する学生も多く見られます。

学科独自のプログラムとしては、公務員志望者向けの履修モデルを提示したり、近隣の自治体職員の方や官公庁に就職した学科のOB・OGを招いて、業務内容や試験対策について何うセミナーを実施しています。

学科で開設している科目においても、自治体研究の手法を取り上げるものや、実際にフィールドに出て地域の課題を明らかにする実習科目などもあり、これらを受講することで二次試験以後の対策にもつながるように指導しています。



公務員受験支援プログラム 「先輩に聞いてみよう」  
講師：うきは市役所 麻生 真由(2017年卒)

## 5. ビジネス・スキル修得支援プログラム

### (1) 自己分析入門講座

就職活動は「自分がどのような個性をもった人間なのか」を客観的に把握することが求められます。採用側の企業はあなたの長所をどのように活かすことができるかを面接でみています。本講座では、キャリアサポートセンターと協力し、自分の長所・短所を知るためのグループワークを行います。講座を通じて「知らなかった自分」を発見する機会となることでしょう。

### (2) 履歴書の書き方講座

履歴書用紙を手に取ると生年月日・学歴に加え、「得意な分野」、「在学時に力を入れてきたこと」等の欄があることに気づきます。履歴書を書くためには、学生時代の学びの姿勢とその内容を、他者にわかりやすい言葉で説明することが必要です。本講座では、あなたが書いた履歴書を実際に添削することで、「読み手に伝わる履歴書」に向けたブラッシュアップを行います。

### (3) 業界研究入門講座

一口に企業といっても業種はさまざまですし、同じ企業でも多くの職種から成り立っています。求人方法・労働条件も業界や企業規模で異なります。皆さんはこうした多様な選択肢の中から自分の特性や将来の方向に沿った企業を見つけ出すことが求められます。本講座は、専門家のアドバイスの下、企業の特徴、就職・求人状況を学び、主体的な業界研究の方法を身につけることを目標とします。

### (4) 個別相談・面接研修

具体的な就職活動を行っている学生に対するキャリアカウンセリングを、外部専門機関の大学生等就職支援事業を活用して実施しています。学生一人ひとりの状況やニーズに合わせて個別相談(求人情報の提供を含む)と面接研修を行い、各自の特性や今後の展望に応じた企業選択ができるよう支援します。

## 活躍する卒業生

### 佐賀新聞社 田原 一郎(2014年卒)

佐賀県の佐賀新聞社で働いています。地域情報を深くまで取材し、情報を掲載する日刊紙「佐賀新聞」発行の他、スポーツ大会や子育て関連のイベント運営などもしています。

私は現在、報道部の記者として勤務しており、佐賀県に拠点を構えるサッカー・J1 サガン鳥栖の番記者を担当しています。年間40以上の試合を取材するため、全国各地を飛び回っています。日々の練習にも顔を出し、選手と関係性をつくることに励んでいます。サガン鳥栖には現在、元スペイン代表のフェルナンド・トーレス選手が在籍しています。世界的ストライカーの考えや思いを聞くことは、競技以外にも、人間的な部分でのご参考になります。外での勤務、出張も多いのでタフさが求められますが、とても楽しく働いています。

記者を希望して入社しましたが、1年目から4年目までは広告営業の部署に配属されていました。希望と異なる部署での勤務に、はがゆい気持ちになることもありましたが、「腐っていても何も成長しない」と目の前の仕事に全力で取り組みました。その結果、功績を称える社内表彰を受けました。入社5年目から念願の記者として働いています。どんな会社に入社しても、最初は上手くいかず、本当にこの会社で良かったのかなど、悩むことがあると思います。皆さんが必死で頑張る姿は、誰かが絶対に見てくれています。前向きな気持ちと責任感を持って取り組んで下さい。



佐賀新聞社にて

### 下関市役所 高木 梓沙(2016年卒)

私は海外の文化を学ぶことが好きで、在学中はヨーロッパの国々に旅行に行ったり、中国の南京師範大学で1年留学したりと、様々な国を見て回りました。その経験から、これまで気がつかなかった地元の魅力に気づき、地元で貢献できる仕事に就きたいと考え、公務員試験を受けて、生まれ育った山口県下関市で市民の生活を支える市役所に就職しました。下関市は、壇ノ浦の戦いや下関条約等、歴史豊かな町で、特に今年は、維新発祥の地として、明治維新150周年に関連した事業に力を入れています。関門海峡に面した自然豊かな町で、新鮮な魚介が楽しめる唐戸市場が有名です。

そんな下関市役所で私が所属しているのは、総合政策部情報政策課です。情報政策課は、IT推進施策に関する業務や電子計算組織に係る業務を行っています。システムが正常に動いていないと、証明書の発行や情報の入力等、様々な業務ができなくなるので、システムに異常が発生した際には、夜中や休日にも駆けつけて対応しなければならない大変な業務ですが、やりがいも大きいです。滞りなくシステムが稼働するよう管理・調整するには、他部署の協力が必要不可欠です。関係者の理解・

協力を得て、効率的に業務が行えるよう、現在は説明力を身につけることを目標に努力しています。

市役所は数年毎に部署異動があります。どの部署に移っても、地元のためになる仕事をしたいという初心を忘れず、誠実に業務に向き合っていきたいです。



市役所本庁舎新館前にて

### 韓国釜山市PAGODA語学院日本語教師 窪田 あかね(2017年卒)

私は2017年春、ベトナムのホーチミン市にある日本語学校に就職し、約1年半働いたあと、2019年に韓国の釜山にある語学学校に就職しました。ホーチミン市では文法を教えていましたが、釜山では会話を担当することになりました。生徒は、日本の文化に興味がある人や、趣味で勉強している人、日本にワーキングホリデーに行きたい人など様々です。

私は在学中からアジアの国々に興味があり、将来は海外で働きたいと思っていました。国際関係や歴史、語学の講義を進んで受けました。日本語教師を目指すきっかけは、韓国ソウルの協定校、三育大学で交換留学生として学んだ際、素敵な韓国語の先生と出会い、私もその先生のように留学生の役に立ちたいと思ったことです。帰国後、学外の日本語教師養成講座に約1年通い、4年生の時は福岡で日本語学校の非常勤講師も勤めました。

釜山での生活はとても楽しいですが、仕事は大変です。授業の準備にかなり時間がかかり、なかなか自分の時間が持たなくて、辛い時もあります。でも、授業で生徒達に分かった時に見せる笑顔がとても嬉しくて、大きなやりがいを感じます。昨日よりいい授業、明日は今日よりいい授業を心がけて、毎日挑戦しています。私の夢は、留学生に技術的に日本語を教えるだけの教師でなく、彼・彼女らの理解者になることです。そのため、しばらくはアジアの国を回り、教師としての経験を積みながら、各国の言葉や文化を学んでいくつもりです。



PAGODA語学院にて



## 活躍する卒業生

### 福岡県庁 宮本 瑛介(2015年卒)

私は福岡県職員に採用され、今は県庁商工部の新事業支援課で創業支援の業務に従事しています。県内各地域の資源や課題解決に特化した、ビジネスプラン・コンテストが担当です。通年のイベント・スケジュールを上司と何度も協議しながら立案し、最後の一大イベントに向けて今やるべきことを逆算しながら、実施要綱の作成や会場確保、関係者への連絡等を行っていきます。失敗を恐れず、自ら行動することの大切さを実感するようになりました。

大学入学前から公務員を志望しており、在学中、大学主催の公務員講座を受講していました。学生時代を思い返すと、ハワイやイギリスでの短期留学、サークル活動など楽しい思い出ばかりです。多くの人々と交流したことで、視野が広がり、多面的な考え方ができるようになりました。これらの経験は、今の仕事にも役立っています。

県職員は定期異動で様々な部署に異動します。昨年度までは福祉事務所で、生活保護のケースワーカーをしていました。生活保護を受給している家庭を実際に訪問し、現状に沿った支援を行う仕事です。異動で全く別の分野に移り、また一から勉強しなければなりません。新しいことに携われるため、楽しく刺激的な毎日を過ごしています。今後も様々な部署で活躍できるよう頑張っていきたいと思っています。



福岡県庁商工部新事業支援課にて

### 株式会社ムーンスター 松元 優実(2018年卒)

私は小中高校の体育館用シューズなどでおなじみのシューズメーカー、(株)ムーンスター(本社：福岡県久留米市)で働いています。在学中は社会調査士、中学社会科教員免許などの資格取得に挑戦しつつ、協定校の南京師範大学への1年間の派遣留学を活かして、中国語の習得にも努めました。この学科でできる経験には何でも挑戦してみようと思っ様々な講義も受講しました。中国留学では、語学力の向上はもとより、習得した中国語で、世界各国の人々と交流できたことが、大きな財産となりました。4年生の時には、この中国留学で身につけた中国語を生かしたい、という想いと共に、自分が好きで興味のあるモノづくりに携われる仕事がしたい、と考えて就職活動をしました。学生時代から好きだった靴を作るメーカーに就職できて、大きな喜びを感じています。

私は今、大阪支店営業第一部で、学校用の上履きや体育館シューズなどの販売や、量販店への商品出荷業務を担っています。靴は流行に左右されやすい商品で先読みが難しく、仕事内容には複雑な数字を読み解いたり、過去のデータから資料を作成するなど、難しいと感じる作業も多いです。毎日新しく学ぶことの連続で大変ですが、徐々に仕事に慣れていくつもりです。

公共社会学科は就職先の選択肢が多く、私も自分自身、納得のいく職

業選択ができました。今後は営業の仕事にもチャレンジしながら、福岡県大と南京師範大で学んだ中国語をさらに上達させて、その語学力を活かせる部署でも仕事をしたいと考えています。



大阪支社にて

### 福岡県中学校教諭 丸山 由希也(2015年卒)

私は、子どもたちがこれから生きていく上で切っても切り離せない社会の仕組みやルール、変動などについて教えないという思いから、社会科の教員を志しました。県立大学では教職課程を履修し、卒業後は専修免許状取得をめざして福岡教育大学大学院に進学、修士課程1年目に福岡県教員採用試験に合格し、大学院修了後に念願であった中学校の社会科教員になることができました。

最も印象に残っているのは、教育実習です。母校の中学校での3週間、人に教えることの難しさや子どもたちと関わることの責任の重さを肌で感じました。また、専門科目では、社会学・経済学・政治学・国際関係論など公民的分野に関わる内容を中心に多くの知識を得ることができました。その中でも、経済に関心を持ち、卒業論文では、リーマン・ショック後の派遣労働市場の変容について研究しました。収集した資料を分析することを通じて、データから現代社会の実情を見取る力を養うことができたと思います。

子どもたちと関わったり、授業を実践したりする中で、うまくいかなかったことを反省することが多くあります。社会や保護者のニーズも多様化している中で、個性も学力も異なる大勢の子どもたちと接する教員の仕事は、本当に複雑で責任の重いものだと思います。その一方で、子どもたちの将来に影響を与える仕事であるため、大きな使命感ややりがいを感じています。以前、私が教わった先生から言われた「学ばざる者、教えるべからず」という言葉を肝に銘じ、教員として成長していきたいと思っています。



社会科の授業風景

### 海外青年協力隊 工藤 夏美(2015年卒)

私は今、JICA(国際協力機構)の青年海外協力隊員としてネパールで教育援助をしています。人の役に立つ仕事が好きで、公共社会学科で国際協力に関連する様々な講義を受け、またNGO主催のプログラムに参加して、カンボジアやタイなど発展途上の農村へも行きました。そこで物乞いする子どもや老人を目の前にしながら、何もできない自分を悔しく思いました。まずは人を助けられる実力を身につけるべきと考え、在学中に教員免許を取得。JICAの大学生プログラムにも応募して採用され、全国各地から選ばれた大学生たちと協働しながら、カンボジア国内のNGOを多数視察したり、農村でインタビュー調査を行った経験も貴重でした。卒業後、塾講師として2年間働いて実践力を身につけた上で、青年海外協力隊員の青少年活動分野に応募して、採用されるに至ったのです。

協力隊員は派遣国が決まると約2か月間、国内の訓練所でみっちり現地語の研修を受けてから派遣されます。私の派遣先はネパール最東端のイラム郡ロング村。Nursary(3歳程度)からClass8(中学2年生程度)の子どもたちが通うスリ・シャンカール初等学校で、英語をネパール語で教える援助活動です。KGクラス(幼稚園児程度)の子どもたちは、会う度に笑顔で「ナヤミス〜(新しい先生)」と呼んでくれます。生徒から誕生日に誘われ、ネパール人家庭を訪ねたりもしました。子ども達はみな素直で、私を慕ってくれるので、とてもやりがいがあります。いっぽう着任して、現地の教員に資質や技術面での課題が多いことも実感し、自分が派遣された意味や役割を肝に銘じました。現地教員がもっと生徒に寄り添い、指導スキルを向上させ、生徒やその保護者から信頼される学校になるよう、尽力していきたいです。



ネパール シャンカール初等学校で英語の授業中

### 大分銀行 井原 俊樹(2016年卒)

大分銀行で来店されるお客様の対応を担当する得意先係の窓口として勤務しています。また、お金の管理を行う出納係としてお金の管理も行っています。社会に出て痛感したのは、指示されたことだけやっても成長できないということ。最初は学生時代との違いに戸惑うこともありましたが、今は自ら考えて実行することを心がけ、お客様に提案したことに対して喜ばれるとやりがいを感じます。銀行は人と人のつながりで仕事が行われているので、大学で学んだコミュニケーション能力が生かされる場面が多々あります。県立大学ではコミュニケーションの重要性はもちろん、人と人の関わり方を学べたと思います。また、学んだことだけでなく、大学生活で卒業後もつきあっていける友人に出会えたことに感謝しています。

社会人2年目となり、「もっと色々な仕事に挑戦したい」、「自分を成長させたい」という意欲が湧いてきました。今後は全ての業務を覚え、多くの資格を取得して、ゆくゆくは事業承継等の仕事を通じて地域に貢献できるようになりたいという抱負を持っています。

県立大学で過ごす大学生生活を未来に活かすのも活かさないのもあなた自身にかかっています。あなた自身が頑張ろうと思えば、県立大学は環

境を与えてくれる大学だと思います。多くの経験を通じて、より良い大学生活を楽しんでください。



お祭りを担う

### 株式会社日本住宅保証検査機構 東 歩美(2013年卒)

私はハウスメーカーやリフォーム会社、不動産会社など住宅を供給する企業を顧客とする国土交通大臣指定の住宅瑕疵担保責任保険法人として、住宅専門の保険業務などを行う(株)日本住宅保証検査機構(JIO)で働いています。社会貢献度の高い仕事をしたという私の思いと「日本の家をまもるJIO」という企業理念がマッチして入社しました。

入社後は九州支店に配属され、保険契約のフォローや提案活動などの営業を2年間担当しました。顧客の抱える問題は様々ため、個別にどうアプローチすべきか試行錯誤の日々でしたが、私が企画・実施したベテラン検査員を講師とする新人職人向け「施工ノウハウの技術勉強会」が好評を得た時には、とてもやりがいを感じました。

現在は東京本社の人事総務部に配属され、就職活動者向けの会社説明会や新入社員教育などに携わっています。人事部門には、社外の人々と協力しながら行う仕事や、社員の満足度や仕事に対するモチベーションを高める社内活動などがありますが、営業の時と同様にコミュニケーション能力の重要性を感じながら日々自己研磨を続けています。

在学中は、日本のマイノリティに関心を持ち、講義やゼミを受講していました。韓国で行った社会調査実習では、旧日本人街を観光地化する事業について韓国の大学生と議論をしたり、当時を知る方と面談したりしました。また移民や難民を支援するNGOのボランティアとして、都心の大学で開かれた国連広報センターと共催のシンポジウムを手伝いました。そうした学習や経験を通じ、自分が「当たり前」「常識」だと思っていたことが覆され、視野がどんどん広がっていきのが面白く、もっと知見を深めたいと思い、首都圏の大学院へも進学しました。

最近では企業の競争力を高めるため、女性やシニア、障がい者、外国人が活躍できるような「ダイバーシティの概念」に多くの企業が注目しています。私も多様な価値観を尊重しながら、これからも働きやすい職場づくりを目指していきたいと考えています。



就職活動中の学生に会社説明をしている様子

(注：活躍する卒業生の内容は、2019年度の取材に基づくものです。)





FUKUOKA PREFECTURAL  
UNIVERSITY

福岡県立大学人間社会学部 公共社会学科

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395 Tel: 0947-42-2118 Fax: 0947-42-6171

公共社会学科ホームページ <http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/human/sociology/>